

傍聴席

12月議会を傍聴して

中川原 加藤博徳

庁舎に入りエレベーターで5階まで行き、議会事務局で住所と氏名を記入し傍聴券を受け取り、議会入り口左側の階段をさるに上ると傍聴席入り口に着く事ができた。開会15分前であったが、傍聴席には数名の方がすでに着席されていました。報道記者と思われる方が最前列に陣取り、開会を待っていました。重川議長さんの開会宣言に続き3名の議員の方が地域行政・教育・いじめ・社会保障等の質問され、それに対して白石町長さん

終章まで何が起こるか分からないというのが実感です。でも何が起ころうと一歩も退かず、乗り越えていくところに人生の醍醐味があると思います。私自身、明るい高齢者の方とお話するのが大好きです。昔の人の智慧を教えていただいたり、若い頃のお話を伺ってその時代を想像したり、楽しいひと時を過ごすことがよくあります。

開始担当の理事の方が答弁されていました。昼食休憩になり午前中の傍聴で帰られた方、午後から傍聴に来られた方と傍聴席の顔ぶれは変わったものの、相変わらず最前列で、メモ用紙を前に熱心に傍聴されていた記者の方が印象的でした。この日の一般質問は、午後2時で終わりましたが、ちよっぴり疲れましたが、終始真剣な議事を傍聴する事ができ大変勉強になりました。車イスで傍聴席に上がる為に階段横に専用エレベーターが設置

町民の声

晩年の顔

宇都宮純子

高齢化社会を迎えて、私のまわりにも高齢の方がたくさんいらっしゃいます。健康に恵まれて運動や趣味を楽しんでいらっしやる方、昨日までお元気だったのに、自宅で転んで骨折し入院された方、又老後の事を思い悩んでうつ状態になられる方など、さまざまです。

老後こそ健康で幸せに暮らしたいと思いますが、人生は変化の連続で、最終章まで何が起こるか分からないというのが実感です。でも何が起ころうと一歩も退かず、乗り越えていくところに人生の醍醐味があると思います。私自身、明るい高齢者の方とお話するのが大好きです。昔の人の智慧を教えていただいたり、若い頃のお話を伺ってその時代を想像したり、楽しいひと時を過ごすことがよくあります。

「晩年の顔は、ごまかしがきかない。人生の年輪が刻まれ隠しようがない。なかでも眼は雄弁にその人を語る。」と言われています。

私もふくよかな顔で老後を迎えたいと願っています。

議会委員会 傍聴のご案内

住所・氏名を届けるだけで、どなたでも自由にできます

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。傍聴の手続きは、議会事務局（庁舎5階）で住所・氏名を書くだけの簡単なものです。多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。（次回は3月上旬～中旬の予定です）

請願

●国民の食糧と健康、農業を守る請願書

採決の結果、請願に対して反対多数で、不採択となりました。

町民の声の原稿をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。（500字程度）

宛先

松前町筒井631
議会広報編集特別委員会
町民の声係
FAX 985-4148
E-mail 500gikai@town.masaki.ehime.jp